

資料5 成果物利用承認申請数

[目的]

自然環境保全基礎調査成果物の利用状況を把握するため、成果物利用承認申請書を集計し、利用者別に、何の目的で、どのような成果がよく利用されているのかを調べた。

[材料]

自然環境保全基礎調査成果物利用承認申請書（昭和53年～平成11年）

- ・複製承認申請書 151件
- ・磁気データ複製承認申請書 136件

[処理方法]

上記の成果物利用承認申請書をデジタル化し、申請者、利用目的、利用成果物に着目し、以下の集計をおこなった。

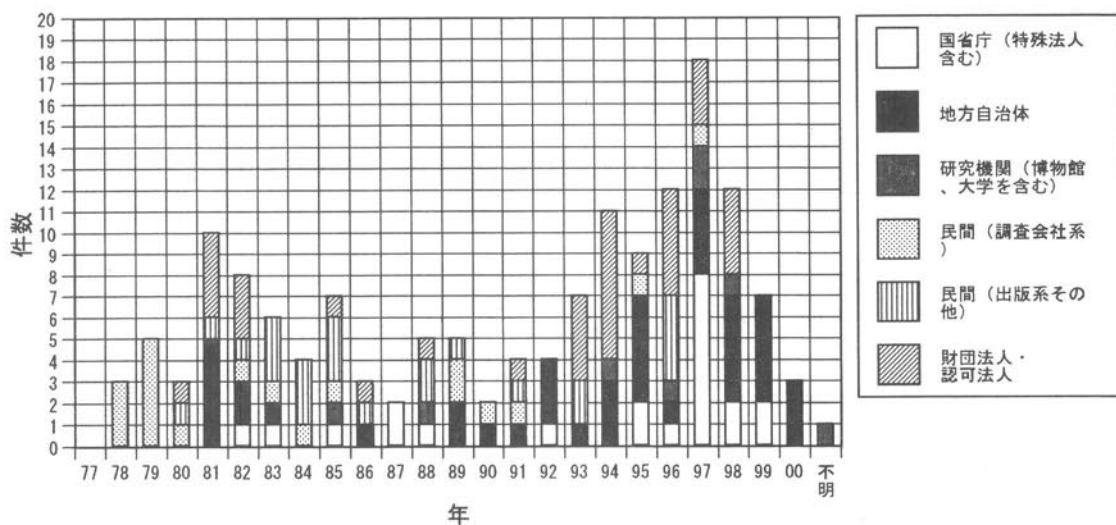
- ・申請者の所属別の集計、年別申請者所属別の集計
- ・複製承認申請書、磁気データ複写利用承認の利用目的別の集計、年別目的別の集計
- ・申請者所属と利用目的別のクロス集計
- ・複製承認申請書、磁気データ複写利用承認の利用成果物の集計

1-1 申請者所属別の集計

申請者所属別	複製承認申請	磁気データ複写利用申請	計
国省庁（特殊法人含む）	22	26	48
地方自治体	43	59	102
研究機関（博物館、大学を含む）	8	50	58
民間（調査会社系）	19	0	19
民間（出版系その他）	23	0	23
財団法人・認可法人	36	1	37
計	151	136	287

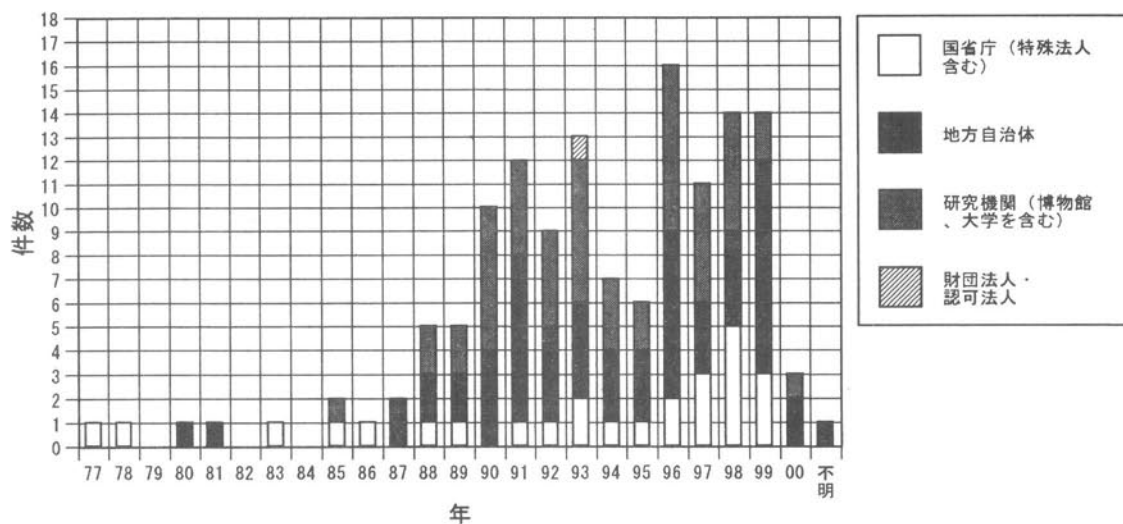
所属別の申請件数は、複製承認申請では地方自治体（43件）と財団法人・認可法人（36件）が多く、磁気データ複写利用承認では地方自治体（59件）と研究機関（50件）が多かった。両申請書の合計では、地方自治体（102件）と最も多かった。

1-2 複製承認申請の年別申請者所属別の集計*



複製承認の年別件数は、81年と97年の2つのピークがあり、前者は第2回基礎調査が公表されたことに起因するもの、後者は97年の国省庁の利用の急増によるもので、93年以降の第4回基礎調査成果公表による一連の利用増加の一部と思われる。

1-3 磁気データ複写利用申請の年別申請者所属別の集計*



磁気データ複写利用申請の年別件数は、88年に入り増加し始め、96年にピークが見られるものの、第3、4回のデータ公開により安定的に利用されていることがわかる。また、地方自治体の利用は毎年安定しているが、研究機関での利用は96年を境に減少傾向にある。

* 00年(2000年)は3月までの申請だけを集計している

2-1 複製承認申請の目的別集計

利用目的	件数
環境調査報告書	16
環境影響評価報告書	26
内部報告書・資料	34
会員向冊子	11
一般向販売書籍	41
複写サービス	8
展示施設	11
環境情報システムの配布	2
その他	2
計	151

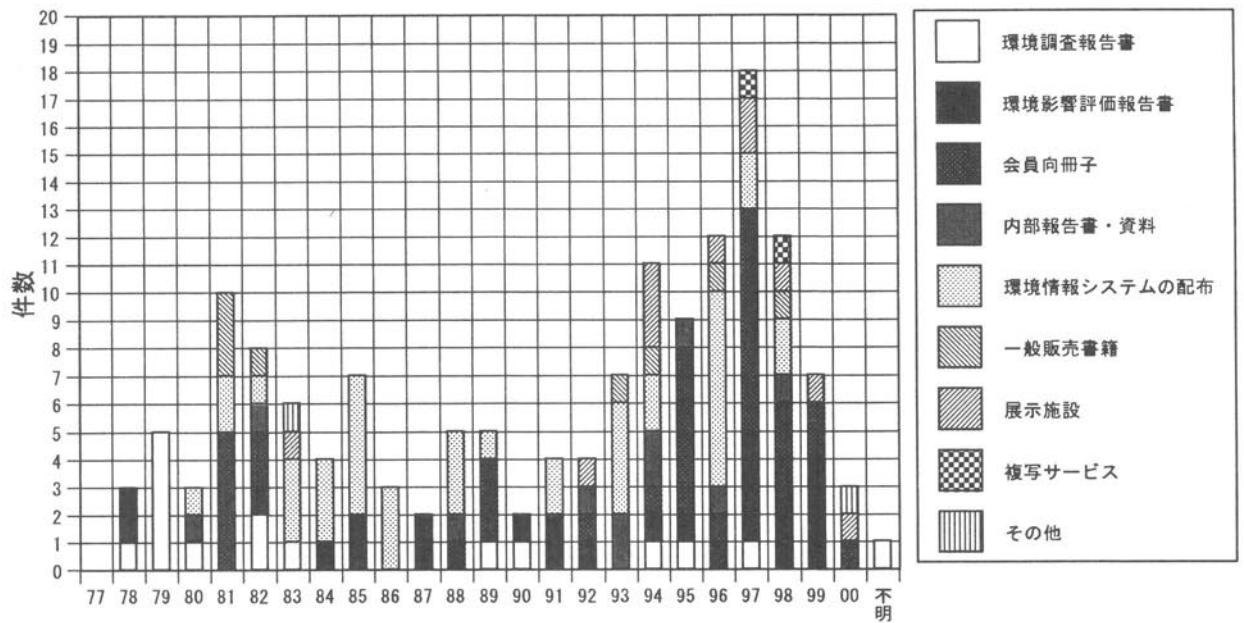
複製承認申請を利用目的別にみると、一般向販売書籍(41件)と内部報告書・資料(34件)、環境影響評価報告書(26件)の順となっていた。

2-2 磁気データ複写利用申請の目的別集計

利用目的	件数
自然環境調査(生物調査等)	18
環境管理計画	17
土地利用計画	11
地域開発計画	6
環境指標の作成	6
RDB作成	4
環境情報システム(データベース構築含む)	34
研究	37
その他	3
計	136

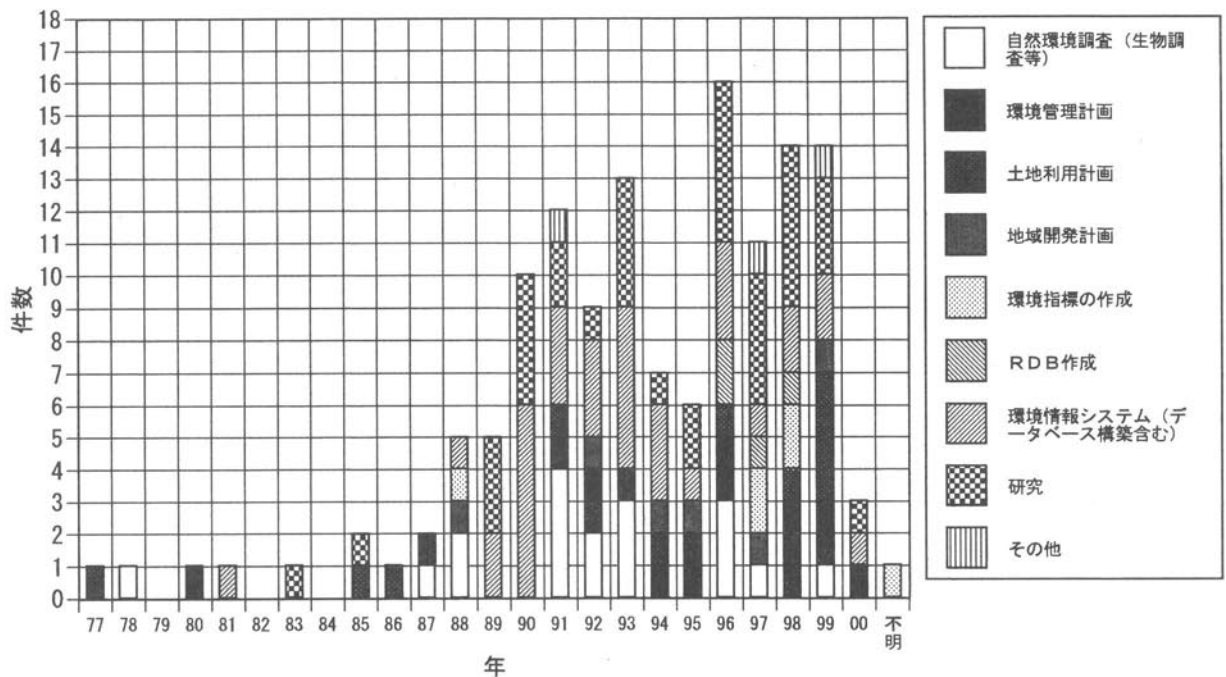
磁気データ複写利用承認申請を利用目的別にみると、研究(37件)と環境情報システム(34件)が多かった。

2-3 複製承認申請の年別目的別の集計*



複製承認申請を年別目的別に見ると、環境影響評価報告書、会員向冊子、環境情報システムにおいてほぼ毎年安定して利用されていることがわかる。

2-4 磁気データ複写利用申請の年別目的別の集計*



磁気データ複写利用申請を年別目的別に見ると、環境情報システム、研究においてほぼ毎年安定して利用されていることがわかる。

* 00年(2000年)は3月までの申請だけを集計している

3-1 複製承認申請・所属別目的別承認件数

	環境調査報告書	環境影響評価報告書	内部報告書・資料	会員向冊子	一般向販売書籍	複写サービス	展示施設	環境情報システムの配布	その他	計
国省庁（特殊法人含む）		11	8					2	1	22
地方自治体	4	6	21	2	3		6		1	43
研究機関（博物館、大学を含む）	1				3		4			8
民間（調査会社系）	9	8	2							19
民間（出版系その他）					23					23
財団法人・認可法人	2	1	3	9	12	8	1			36
計	16	26	34	11	41	8	11	2	2	151

複製承認申請を所属別、利用目的別にみると、地方自治体での内部報告書・資料（21件）と民間会社での一般向販売書籍（23件）が20件以上と多く、国省庁での環境影響評価報告書（11件）、財団法人・認可法人での一般向販売書籍（12件）が10件以上となっていた。

3-2 磁気データ複写申請・所属別目的別承認件数

	自然環境調査（生物調査等）	環境管理計画	土地利用計画	地域開発計画	環境指標の作成	RDB作成	環境情報システム（データベース構築含む）	研究	その他	計
国省庁（特殊法人含む）	3	3	4	1	4		4	7		26
地方自治体	12	13	6	4	1	4	16	1	2	59
研究機関（博物館、大学を含む）	3	1	1	1	1		13	29	1	50
民間（調査会社系）										0
民間（出版系その他）										0
財団法人・認可法人							1			1
計	18	17	11	6	6	4	34	37	3	136

磁気データ複写利用承認を所属別、利用目的別にみると、研究機関での研究（29件）、環境情報システム（13件）、地方自治体での自然環境調査（12件）、環境管理計画（13件）、環境情報システム（16件）が多くなっていた。

4-1 複製承認申請の成果、調査回次別利用回数

調査回次	報告書	成果利用件数	調査回次別合計
1	現存植生図(1/200,000) (都道府県別53面)	40	
1	植生自然度図(1/200,000) (都道府県別53面)	37	第1回調査
1	すぐれた自然図(1/200,000) (都道府県別53面)	5	82
2	現存植生図(1/50,000) (608面)	103	
2	植生調査報告書 (全国版)	2	
2	特定植物群落調査報告書 (都道府県別47冊)	1	
2	特定植物群落調査報告書 (全国版)	1	
2	動物分布調査報告書 (哺乳類) (都道府県別47冊)	2	
2	動物分布調査報告書 (哺乳類) (全国版)	2	
2	動物分布調査報告書 (鳥類) (全国版)	2	
2	動物分布調査報告書 (両生類・爬虫類) (都道府県別47冊)	1	
2	動物分布調査報告書 (両生類・爬虫類) (全国版)	1	
2	動物分布調査報告書 (両生類・爬虫類) (全国版その2)	1	
2	動物分布調査報告書 (淡水魚類) (都道府県別47冊)	2	
2	表土改変状況調査報告書	1	
2	河川調査報告書 (都道府県版47分冊)	1	
2	動植物分布図 (1/200,000) (都道府県別53面)	15	
2	日本の自然環境 (通称アトラス)	9	
2	第2回自然環境保全基礎調査報告書 (緑の国勢調査)	1	
2	日本の重要な植物群落 (地方別12分冊)	1	
2	日本産鳥類の繁殖分布 (全国版)	1	
2	日本の重要な両生類・爬虫類の分布 (全国版)	1	
2	日本の重要な淡水魚類 (地方別12分冊)	1	
2	日本の重要な昆虫類(地方別12冊)	3	第2回調査
2	日本の重要な昆虫類の分布 (全国版)	1	153
3	現存植生図(1/50,000) (685面)	65	
3	植生調査報告書 (全国版)	3	
3	1/300万 現存植生図	3	
3	自然環境情報図 (1/200,000) (都道府県別53面)	4	第3回調査
3	植物目録 (上) (中) (下)	1	76
4	巨樹・巨木林調査報告書 (地方版8分冊)	1	
4	巨樹・巨木林調査報告書 (全国版)	1	
4	小冊子「1990年身近な生きもの調査 調査結果」	1	
4	緑の国勢調査	2	
4	植生調査報告書 (全国版)	9	
4	植生改変図(1/50,000)	27	
4	海域生物環境調査報告書 第1巻 干潟	3	
4	海域生物環境調査報告書 第2巻 藻場	2	
4	海域生物環境調査報告書 第3巻 サンゴ礁	5	
4	動植物分布調査報告書 哺乳類	1	
4	湖沼調査報告書 (全国版)	1	第4回調査
4	河川調査報告書 (全国版)	1	54
5	都道府県別メッシュマップ自然環境保全基礎調査用	2	第5回調査
5	身近な生きもの調査調査結果最終版	2	4
99	その他	14	14
	計	383	383

複製承認申請の調査回次別の成果物の利用件数は、第2回調査(153件)、第1回調査(82件)、第3回調査(76件)、第4回調査(54件)の順となっていた。第1回調査では、現存植生図(1/200,000)(40件)、植生自然度図(1/200,000)(37件)が多く、第2回調査では現存植生図(1/50,000)(103件)が最も多く、次いで動植物分布図(1/200,000)(15件)、日本の自然環境(9件)の順となっていた。第3回調査では現存植生図(1/50,000)(65件)が多く、第4回調査では植生改変図(1/50,000)(27件)、海域生物環境調査報告書(計10件)が多かった。

4-2 磁気データ複写利用申請の成果、調査回次別利用回数

調査回次	ファイル名	利用件数	調査回別合計
			第1回調査
1	植物群落及び植生自然度	22	22
2	植生調査	4	
2	特定植物群落調査	6	
2	哺乳類分布	22	
2	鳥類分布	18	
2	昆虫類分布	20	
2	海岸改変状況	13	
2	干潟分布	9	
2	藻場分布	10	
2	サンゴ礁分布	5	
2	赤潮発生海域	4	
2	湖沼調査	6	第2回調査
2	河川調査	7	124
3	特定植物群落調査	24	
3	植生調査	42	
3	植物目録	10	
3	動植物分布調査(指標種調査)	23	
3	動植物分布調査(全種調査)	7	
3	動植物分布調査(哺乳類)	2	
3	動植物分布調査(鳥類)	4	
3	自然景観資源調査	10	
3	湖沼調査	7	
3	河川調査	8	
3	海岸調査	13	第3回調査
3	海域生物環境調査	6	156
4	植生調査	16	
4	巨樹・巨木林調査	3	
4	動植物分布調査(指標種)	3	
4	動植物分布調査(全種調査)	3	
4	動植物分布調査(哺乳類)	3	
4	動植物分布調査(鳥類)	3	
4	動植物分布調査(両生類・爬虫類)	3	
4	動植物分布調査(陸産・淡水産貝類)	2	
4	動植物分布調査(淡水魚)	2	
4	動植物分布調査(ガ類)	4	
4	動植物分布調査(トンボ類)	4	
4	動植物分布調査(セミ・水生半翅類)	3	
4	動植物分布調査(チョウ類)	5	
4	動植物分布調査(甲虫類)	3	
4	湖沼調査	2	
4	海岸調査	1	第4回調査
4	河川調査・河川改変状況	1	61
2,3,4	G I S・植生調査、現存植生	33	
2,3	G I S・特定植物群落調査	14	
4	G I S・巨樹・巨木林調査	2	
3	G I S・自然景観資源調査	5	
2,3,4	G I S・河川調査、河川改変状況	3	
2,3,4	G I S・河川調査、魚類調査	6	
4	G I S・海岸調査、海岸改変調査	2	
5	G I S・海辺調査、海辺浅海域	1	
4	G I S・湖沼調査、湖沼改変状況	3	
4	G I S・湖沼調査、水質調査点、プランクトン調査点	1	
5	G I S・湿地調査	3	
4	G I S・海域生物環境調査、干潟藻場サンゴ礁	3	
9	G I S・国立公園区域図、国定公園区域図	1	
9	G I S・(原生)自然環境保全地域	1	

9	GIS・国設鳥獣保護区、生息地等保護区	3	GIS
9	GIS・ラムサール条約登録湿地	3	84
9	その他	2	2
	計	449	449

磁気データ複写申請の調査回次別の成果物の利用件数をみると、第3回調査（190件）、第2回調査（134件）、第4回調査（89件）、第1回調査（22件）の順となっていた。第2回調査では動物分布調査（計60件）が多く、ついで海岸改変状況調査（13件）、藻場調査（10件）が多かった。第3回調査では植生調査（42件）、特定植物群落調査（24件）と植物関係のデータを中心に、動植物分布調査（指標種調査）（23件）が多く利用された。第4回調査では動植物分布調査（計35件）が多く利用されていた。自然環境情報GISでは植生調査・現存植生（33件）、特定植物群落調査（12件）の順となっていた。